

たてしな

議会だより

特集号

新議会構成が決まる

選挙後の初議会が5月7日開催され、議長に土屋春江議員が、副議長に田中三江議員がそれぞれ選出されました。その後常任委員会委員、議会運営委員会委員、一部事務組合議会議員等の構成を決定しました。

今回の「議会だより」は特集号として、新しい議会構成及び議員あいさつをお届けします。

就任のあいさつ

議長

土屋 春江



青葉が目眩しいこの頃、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度の議会議員選挙で、町民の信任を得まして、私達12名職責を与えられ任を果たすことになりました。

去る5月7日の臨時議会において、議会構成が行われ、2期8年の実績を基に「女性の視点生かして」の思いで議長に手を挙げさせていただきました。結果、議長に選出され、伝統ある立科町議会の議長の重責を担うことになりあらためて身の引き締まる思いであります。

もとより、浅学非才の身でございますが、この大任を誠心誠意、町民皆様の負託に応えるべく努力をしてまいります。

副議長

田中 三江



青田をわたる風も爽やかな季節となりました。「ひとり一人の夢や想いが活かされ 元気で輝く町づくりのために」と出馬した三期目の町議選では多くの皆様に御支援、ご協力を賜り当選させて頂きましたこと心より感謝申し上げます。

町長、副町長も代わり、議員も半数は新議員となり平均年齢もぐんと低くなりました。そんな中、この度副議長に選任され重責を感じております。議長を補佐し職責を全うする所存です。よりよくお願い申し上げます。

地方創生の制度などを活用し、人口増対策、子育て支援・高齢者福祉・町の活性化など、町民皆様のご意見を伺い、職員・議員間での意見交換など、より良い町づくりに向けまい進して参りますので宜しくお願いいたします。

「安全安心 皆様の声を大切に 住民参加の開かれた議会に向け 全力を尽くします」皆様の暖かいご支援・ご指導よろしくお願い申し上げます。

現在、町は住民サービスに繋がる職員体制・索道事業・蓼科高校の存続・株立科町農業振興公社たてしな屋等、課題が山積みであります。いずれにしましても、新しい風を吹き込むべく初心に立ち、行政と一定の距離を置き、町の意思決定を町民益になるよう議決をして行く覚悟です。どうぞ、宜しくお願いいたします。

議会構成

議長 土屋 春江
副議長 田中 三江

常任委員会

委員長 森本 信明
副委員長 今井 清
委員 土屋 春江
委員 西藤 努
委員 森澤 文王
委員 今井 英昭

◎総務経済常任委員会

総務課・総合政策課・農林課・観光課・会計室及び議会事務局の所管する事項に関する事務の調査及び議案・請願・陳情等の審査をします。

◎議会運営委員会

議会の運営について、調査・検討をします。

委員長 両角 正芳
副委員長 今井 英昭
委員 森本 信明
委員 榎本 真弓

一部事務組合

◎佐久広域連合
議員 土屋 春江
議員 田中 三江

◎社会文教建設常任委員会

町民課・建設課及び教育委員会の所管する事項に関する事務の調査及び議案・請願・陳情等の審査をします。

◎北佐久郡老人福祉施設組合
議員 土屋 春江
議員 森本 信明

◎川西保健衛生施設組合

議員 西藤 努
議員 森本 信明
議員 今井 清
議員 森澤 文王

◎白樺湖下水道組合

議員 土屋 春江
議員 西藤 努
議員 榎本 真弓
議員 今井 英昭

◎佐久市・北佐久環境施設組合

議員 森本 信明
議員 今井 清

◎立科町土地開発公社

理事
土屋 春江
田中 三江
瀧澤壽美雄



今井 英昭 (議席一番)

生まれ育った立科町に、東京からUターンをして、二度目の春が終わろうとしています。その期間の中で、幼少時代の探検ごっこで発見した秘密基地、思春期時代の心の拠り所だった場所など、町内の思い出の場所へ再訪し、改めて、「立科町で育つ」という環境の良さを肌で感じながら、日々、生活をしています。同時に、現在、幼少期の私の子供二人が、立科町で育つことができていることを、とても嬉しく思っております。

今回、町議会議員としてお世話になりますが、議員としての数多くある責務は、多方面に渡ります。その中でも、立科町の人口の「維持」、「増」への対策は、急務課題の一つでもあります。一度は立科を離れた若者が、私みたいに一人でも多く、Uターンをして頂きたいと思っております。そのために、

自然の豊かさ、絆がある住民のホッとした居心地の良さを伝えていきたいと思っております。また、子供を育てる環境が整った、活気ある、賑やかで魅力ある町づくりができるように、全力で町政に取り組んでまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

森澤 文王 (議席二番)



過去に経験した仕事の影響で、満開の桜よりも青々とした葉桜に春の訪れを感じている私ですが、この春、今までになく葉桜に輝きと希望、生命力を感じる事が出来ましたのは、この度の町議会議員選挙におきまして、皆



村田 桂子 (議席四番)

この度、みなさんの大きなご支援で、山浦妙子議員の後を引き継ぐことができました。

今、日本は大きな曲がり角に立っています。「再び、政府の行為によって戦争の惨禍が起きないよう」に(憲法前文)今こそ、平和・憲法を守り活かすために全力を尽くします。

沖縄では「オール沖縄」で新基地建設反対の固い意思表示がされました。「命どう宝」の立場で私たちも「憲法変えるな」「戦争はダメ」の意思表示を「オール立科」で示しましょう。私もがんばります。

また、TPPへの参加や米価暴落への無策などは農業や農村、地域の存続を危うくします。「工業栄えて農滅ぶ」これまでのやり方を根本的に見直して、立科に住む皆さんが、さらに元気に生き生きと過ごせるよう、みなさんと力を合わせてまいります。自然や人などの地域のお宝を生かしたまちづくりが進められるようがんばります。

両角 正芳 (議席五番)



風薫る新緑鮮やかな季節を迎え、町民皆様にはご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。人口減少が続く中、早期に町の将来ビジョンを示し、コンパクトでもキラリと光る町づくりに向けて、地域皆様の声を的確に捉え練り上げ、政策提案を行ってまいります。そして、車の両輪である行政と力を合わせ、スピード感をもって実行してまいります。5



村松 浩喜 (議席六番)

この度の選挙ではご支援賜り、誠にありがとうございました。おかげさまで、元職として2期目相当で当選することができ、在職年数や年齢で決まる議席番号は、1期目の1番から今回は6番へと上がりました。

中堅議員としての責任を担いつつ、気持ちを新たに再出発したいと存じます。今期の立科町は、新人町長の当選、女性の正副議長就任、若手職員の副町長抜擢と、広く耳目を集める体制でスタートしました。このような新しい環境で、行政と議会が適度な緊張感を保ちながら協力して、より良い町づくりに向けて進まなければなりません。

私は、町民皆様の代表であるとの自覚を持ち、行政に対するチェックを怠らず、効果的な提案をいたします。皆様のご意見・ご感想など、お気軽にお聞かせ下さい。今後とも、よろしくお願い申し上げます。



今井 清 (議席三番)



この度は、町民皆様の暖かいご支援をいただきまして、町会議員としての第一歩を踏み出すことができました。心より感謝申し上げます。

立科町は自立の道を歩んでおりますが、少子高齢化の波にもまれ、人口

減少の厳しい現実に直面しています。今こそ、町民皆様と一体となって知恵を出し合い、ずくを出し、額に汗して頑張りたいと思えます。立科町の魅力を発見し、小さな自治体だからできる事を追求して、子どもたちが将来「立科町に住みたい」と思える町づくりに向けて精進したいと思います。

皆様とともに立科町の未来について語り合い、夢の実現に向けて前進するためにご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

榎本真弓

(議席七番)



皆さまの暖かいご支援により、再度活躍の場をいただきました。心より感謝申し上げます。日本全国、地方創生の大きなうねりがあります。人口減少・高齢化・少子化が確実に進んでいく。そのためにやらなければならぬこと。今期もすき間を埋めるよう、果敢に提案して参ります。

立科町は自立が根底に流れています。先の課題に加え自主財源確保・索道事業・蓼科高校存続など重要課題は山積です。中でも索道事業は、改善環境が広がりこれからの政策力が問われます。「観光と農業の町」を実現するためには、机上の議論だけでなく実現に向けた実行力です。

二期目の議会構成では、総務経済委員長の任に付きました。新しい部署の総合政策課も加わり、活発な委員会に取り組んでいきます。

全てが新体制、今後4年間、初心に戻り現場を走りに走ります。「一人を大切に、いのち輝く未来のために」の指針を胸に、町民の皆さまと共に立科町の発展のために、一生懸命努めて参ります。

森本信明

(議席八番)



今年は、桜の開花が例年より早い、立科の春の訪れでした。春の陽に新緑が輝き、心和ませる立科の春のなかで、多くの町民の皆さんのご支持に支えられて、二期目も当選する榮譽を得ましたことに、感謝を申し上げます。

す。

私は、今までの行政経験と一期四年間の議員活動を活かし、引き続き「立科町が自立を堅持し」「豊かな水と緑を大切に、人が息づくまちづくり」を推進する活動を行います。

立科町しあわせプラン「第5次立科町振興計画」(初年度)と地方分権・地方の自主性が守られることを基本に政府が進める「地方創生」との整合をはかり、すべての町民が安全・安心して暮らせる施策の充実を図ります。

議会の情報公開の機会を多くし、町民に分かりやすい議会。議員が力を合わせ、町民から信頼される議会。町民との協働の町づくりを推進します。

町発展の担い手議員として、頑張ります。町民の皆さんのご支援をお願いいたします。

西藤 努

(議席九番)



新緑の爽やかな季節を迎えました。

この度、3期目へのご支援を頂き、皆様に深く感謝申し上げます。改めて身を引き締め、皆様の声を届け、安心に暮らせる町の実現に全力を尽くします。

本年の統一地方選挙により、当町、議会も大きな変革を遂げました。課題山積の今、立科町の将来をしっかりと見据え、皆様への責任、次世代への責任を果たす決意しております。今期、私は、五つの安心と、議会改革、情報の徹底公開に取り組みます。皆さん一人ひとりの役割と居場所のある町、助けが必要な人は全力で守れる町、住んで良かった、そして、地域の絆がある町、故郷の風景を子供達に残せていく町の姿を原動力として、立科町創生に向け努力

を重ねます。皆様に常に寄り添い、共に課題解決に取り組み、暮らしの一助になればと思っております。皆様のお声をお気軽に御寄せ下さい。皆様のより一層のご支援ご協力、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

瀧澤 壽美雄

(議席十番)



新緑鮮やかな季節を迎え皆様には益々ご清栄の事とお喜び申し上げます。このたびの町議会選挙にあたり、皆様から暖かいご支援を頂き心から感謝申し上げます。少しづつかもしれませんが一歩一歩着実に議会が自らの存在意義を問い直し、本来あるべき議会への脱皮を図り始めています。町政は四月から米村町政に変わり新しい動きに変わらざるをえません。立科町議会もこの新しい動きに対し、しっかりと対応して行かなければなりません。そして平行して議会改革も取り組んでいかなければなりません。

これからは町民の多様な声を代表する議員が、自ら議案を提案し、自治体運営全般について討議し、地域の意思決定を行っていく場をつくり出していきたいと考えています。議会が本来求められている、行政のチェック機能の向上と町民に分かりやすい議会を目指し四期目、しっかりと頑張りたいと思っております。応援よろしく申し上げます。

あたらしい議会が始まります。議員の半数が新人となり、議会だよりも新人議員6人が担当することとなりました。みなさんにお読みいただけるような紙面をめざしがんばります。ご意見をお寄せください。

編集委員長 村田 桂子